

校長室通信

小国町立小国中学校

令和4.10.7(金)No18

文責 狭間卓史

「平和への誓い」

9月25日(日)～27日(火)の日程で、8年生が修学旅行に行ってきました。行き先は先日実施した9年生と同様で中国地方(広島・山口)でした。

コロナ禍での実施はとても難しく、22日(木)は8年生だけオンライン授業にし、出発直前の三日間を自宅で過ごさせたいと考えていましたが、休み中も部活動やクラブの大切な大会等が予定されており、出発当日の生徒の体調次第の判断となりました。

旅行一日目の中心企画は広島平和公園や平和記念資料館等での平和学習でした。生徒らは与えられた時間をフルに使って、館内の資料に学び、戦争の悲惨さと共に、ひとたび戦争が起きれば、何の罪もない人々が、一瞬で命を奪われてしまう理不尽さに気づけたようでした。最後の平和講話でも講師の山瀬潤子さんの体験に学ばせていただきました。山瀬さんがおっしゃった、平和な世の中を築くために、「武器に頼らないでほしい。自分たちに出来ることを取り組んでほしい。」という趣旨のお言葉は、これからの未来を担う生徒にとって、貴重な示唆をいただけたと思っています。その日のホテルでは一日の学習を振り返りましたが、生徒から素晴らしい感想が発表されました。

○あたり前の幸せに気づけた。日本は77年間平和を守ってきたが、これからも自分に出来ることに取り組みたい。

○ご飯を食べること等、日頃の生活を丁寧に取り組みたい。

○正しい情報を知る。相手のことを考えて行動する。etc

今年で戦後77年と言われますが、戦争で大切な家族を失った方々にとっては、戦後とは呼べない時間であることに気づかされました。過ちは繰り返さない。平和な世の中を守り続ける。それが今を担う私たちの責務だと思っています。

旅行二日目は宮島(世界文化遺産)の歴史に学び、最終日は、秋芳洞(山口県)の見学も出来ました。それぞれに、買い物はもちろんのこと、その土地ならではの味も体験し、楽しい思い出が出来たようで何よりでした。しかしながら、最終日の見学予定地の「錦帯橋」については、バスを降りる直前に激しい雷雨に見舞われ、急きょバスの車窓からの見学のみに変更させていただきました。それでも添乗員の押川さん・岩崎さん(九州産交)の提案と調整で、浮いた時間を何事もなかったかのように即座に調整していただきました。プロの仕事垣間見ることが出来た何よりの機会となりました。また、お二人は博多駅からの帰りの車中で職業講話もしていただきましたが、これも、急きょお願いしたことでした。お二人にはお願いした時間を越えて、熱く、楽しく語っていただき、生徒のこれからのエールの言葉もいただきました。

今回の修学旅行についてはご家庭の皆様方はもちろんのこと、小国町当局や九州産交をはじめ、様々な方々のご理解とご尽力があって実現できました。関係した皆様方にこの場を借りまして感謝申し上げます。



【広島平和公園にて】



【平和講話に学ぶ】



【宮島にて 2組】



【宮島の歴史に学ぶ】



【秋芳洞にて 1組】